

# 大仏鉄道 遺構めぐり木津川市編

## ウォーキング Map

のどかな  
田園風景  
を楽しむ

らくらくハーフコース 〈JR加茂駅→JR木津駅〉



**START** JR加茂駅西口 0.1km → **1** ランプ小屋 0.2km → **2** 旧加茂駅跨線橋支柱 0.3km → **3** C57 56SL

2.0km → **4** 観音寺橋台 1.0km → **5** 鹿背山橋台 1.0km → **6** 梶ヶ谷隧道 0.3km → **7** 赤橋

0.2km → **8** 城山台公園 (大仏鉄道公園) 1.8km → **GOAL** JR木津駅東口



JR 加茂駅から JR 奈良駅までのフルコース(13km)を歩く場合は「幻の大仏鉄道 遺構めぐりマップ」をご参照ください。

パンフレットのダウンロードはこちら



至加茂駅・上狛駅・西木津駅



**Check!**  
東西連絡通路  
大正時代に建築された旧駅舎の線路下通路を再活用している



**GOAL**  
至木津駅



鉄のモニュメント  
農(みのり)のまちを豊かに耕すシンボル

城山台中央  
城址公園

展望台  
木津川市が一望できる

木津城跡  
土塁、堀切、横堀等の遺構が残っている

城山台六丁目

城山台公園 (大仏鉄道公園)

大仏鉄道レールモニュメント  
探してみてください!

フルコース JR 奈良駅へ

至梅台



至浄瑠璃寺・岩船寺 1~8の遺構写真・詳細はウラ面

# 今から100年以上前、加茂と奈良を結ぶ「大仏鉄道」が走っていました。わずか9.9kmの路線の愛称です。

大仏鉄道は営業期間が短く、当時の資料も乏しいことから「幻の大仏鉄道」とも呼ばれ、隧道や橋台など数々の遺構が当時の姿のまま残されています。「電光(いなすま)号」と呼ばれた真紅の蒸気機関車が駆け抜けていた大仏鉄道。その姿を思い描きながら、田園風景が広がる中、廃線跡をのんびりめぐってみませんか。

## 1 ランプ小屋



照明の、燃料となる油などを保管するための小屋。明治30年(1897年)に建てられ、関西鉄道(かんせいてつどう)加茂駅の開業当時から残る。赤レンガ造り小屋の、入口前のフェンス越しに、加茂駅ホーム内の旧跨線橋の支柱が見える。



※跨線橋(こせんきょう)とは、鉄道線路を跨ぐもの。鉄道線路を立体交差で越えるために架けられた橋。

## 2 旧加茂駅跨線橋支柱



明治32年(1899年)頃着工。支柱の根元には「尾張熱田 鐵道車両製造所 製造」の表示がある。大仏鉄道を敷設した「関西鉄道」は、三重県四日市市を本社とする鐵道会社だったので、愛知県の工場で製造されたことがわかる。



## 3 C57 56SL



線路脇の小学校のグラウンド横にある。昭和12(1937)年に製造された蒸気機関車C57は、大仏鉄道を走っていないが、その美しい姿から「貴婦人」というニックネームがつけられた。



## 4 観音寺橋台・小橋台



観音寺橋台同様、切石積みの橋台。JR大和路線とは、このあたりで加茂方面に併走、奈良方面へは離れていく。すぐ横を大和路線が走り危険なため、立ち入り禁止。

大仏鉄道の急な高低差を緩和するために作られた築堤にある石積みの橋台。現在、JR大和路線が併走しており、使用されている路線と廃線を一緒に撮影できる人気スポット。

## 5 鹿背山橋台



流れる水路をはさみ、しっかりと黒光りし佇む、堅固な構えの石積みの橋台。大仏鉄道の遺構の中でも人気のスポットの一つ。

## 6 梶ヶ谷隧道



農道や水路を通すために築堤下部に設けられた隧道。アーチ部分はレンガ積み、下部は石積みという様々な技法を組み合わせた隧道。内部は歩くことができる。

## 7 赤橋



花崗岩とレンガを組み合わせ造られた橋台。上は車道が通り生活道路として現役で活躍している。

## 8 城山台公園(大仏鉄道公園)



公園内にある枕木を模したモニュメント。東屋があり、休憩ができる。公園の駐車場に車を止め、徒歩で遺構をめぐるのがおすすめ。

